ASSOCIATION OF PLASTICS MOLDERS, EAST JAPAN

東日本APMニュース

第542号　2023. 8/4

一般社団法人 東日本プラスチック製品工業協会
東京都中央区築地3－12－5 築地小山ビル TEL 03(3541)4321
URL:http://www.ejp.or.jp FAX 03(3541)4324
発行人　八尋　一恭

目　次

納涼会……1
全日本プラスチック製品工業連合会
通常総会が開催されました……2
事務局レポート……3
安定流動と不安定流動……6
暑中広告……7

納涼会
～退任された前理事にもご参加いただき賑やかに開催

令和５年７月13日（木）18時より三笠会館１Ｆのイタリアンバール　ラ　ヴィオラにて、恒例の納涼会が開催されました。例年５月の通常総会で退任された理事をお呼びして開催していましたが、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で令和２年以降開催を見送っておりましたが、今年ようやく開催することができました。

住田会長からは納涼会開会のご挨拶がありました。その後、理事を14期28年務められた曽我部上様、理事を10期20年務められた大塚一郎様に感謝状と記念品が贈呈されました。また、福島県プラスチック工業会会長として活躍され、団体会員の長として理事会に参画いただいた安齋由二様には記念品が贈呈されました。

記念品の贈呈終了後、山下副会長の乾杯の音頭で納涼会が賑やかに始まりました。

その後、元理事の皆様からは、理事時代のご苦労の思い出なども交えてご挨拶をいただきました。

ご挨拶が終わり、今年の通常総会で新たに就任された原田副会長からもご挨拶をいただきました。20時、肥後副会長の中締めにより納涼会はお開きになりました。

表彰されるお二人

安齋様への記念品の授与

山下副会長の乾杯と納涼会の様子

全日本プラスチック製品工業連合会 通常総会が開催されました

令和５年６月８日（木）千里阪急ホテル（大阪府豊中市）において全日本プラスチック製品工業連合会の第62回通常総会が開催されました。

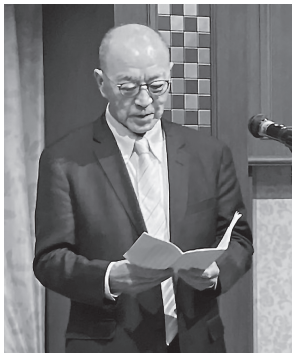
通常総会では、大野泰昭会長の開会の挨拶に続き以下の議事がなされました。

第１号議案　令和４年度　事業報告（案）承認の件
第２号議案　令和４年度　決算報告（案）承認の件
第３号議案　令和４年度　収支差額処分方法（案）承認の件
第４号議案　令和５年度　事業計画（案）審議の件

なお、令和４年度の当連合会運営方針として、専務理事から『新型コロナウイルス感染症はやや収束の傾向を見せてまいりました。私たちの生活の中では、マスクの着用制限が解除されるなど徐々に感染対策の見直しが行われつつあります。また、今後新型コロナの感染症法上の位置づけが「２類相当」から「５類」に見直されることもあり、まだまだ感染終息へ向けての足取りは重いものと思われます。ロシア・ウクライナ問題もまだ解決には至らず、それに起因したエネルギー高や、原材料高は当面続くものと思われます。とりわけ私たちが業種柄多くを依存する電気の価格がさらに高騰する様相を呈しています。

こうした中で、昨年プラスチック資源循環促進法が施行されました。今後は今までにも増してSDGsやカーボンニュートラルを十分に意識しながらものづくりに取り組む必要があります。こうした状況を踏まえ、当連合会は会員間の意思疎通と情報交換を図り、具体的な要望事項等を国並びに諸機関へ働きかけるとともに、傘下の会員企業の経営効率、技能・技術の向上及び人材育成等に有効に対応すべく、以下の事業を推進し、連合会の設立目的の実現に向けて努力してまいります。』との説明が行われました。

通常総会ですべての議案が承認されたのち、経済産業省素材産業課の岸田学課長補佐にご参加いただき、講習会と意見交換会を実施しました。岸田課長補佐からは、懸案となっている特定技能資格にかかる進展状況をはじめとした経済産業省の施策についてご説明いただきました。また、ご説明の後、意見交換を行いました。


ご挨拶される大野会長

続いて、隣の会場で懇親会を開催しました。大野新会長からは以下の挨拶がありました。

『ただいまご紹介いただきました大野でございます。正副会長会・通常総会・情報交換会と長時間大変お疲れ様でございました。会長職を賜りまして、早いもので１年が経過しました。任期のあと１年皆様のご協力を得ながら、誠心誠意努めさせていただきます。

上場企業の2023年３月期は純利益の合計が、前期比１％増の39兆881億円と２期連続で最高益になりました。資源高を追い風に商社が好調、経済再開で空港や鉄道・バスが黒字展開するなど、非製造業がけん引したそうです。一方製造業は苦戦

が目立ったそうです。化学などが世界経済の減速による、需要減の打撃を受けたそうです。24年３月期予想は、純利益が前期比２％増え、３期連続で最高益を更新する見通しだそうです。

さて、お話は変わりますが、会長として次の４項目を目標にさせて頂きました。目標に対しての実績を振り替えたいと思います。

一つ目は会員の増加です。結果は894社から890社で、４社減少になりました。引き続き会員増加に努力したいと思います。

二つ目はプラスチック業界も、特定技能制度の対象に認可していただくように、経済産業省に働きかけをして、会員企業の採用難・人手不足を解消していきたい件につきましては　自民党の外国人労働者等特別委員会で、「技能実習はやめ、特定技能の業種を３分野から全12分野に拡大する」方向で調整に入りました。ここは注意深く見守る必要があると思います。

三つ目は海外プラスチック製品製造業との交流ですが、ドイツ Tec Part（ドイツ工業用プラスチック製品協会）という協会名がわかり、今問い合わせを始めたところです。

四つ目はプラスチック資源循環促進法ができ、今後は環境に配慮したモノづくりを目指していく必要があると考えています。同法は「プラスチック製品の設計から製造、使用後の再利用まで、すべてのプロセスで資源循環をしていく法律」です。私たち製造業者は、設計段階からゴミを出さないよう配慮するとともに、製品の回収や再資源化を率先して行うことが求められています。

しかし、我々プラスチックメーカーだけだと製品の回収や再資源化が難しい面もあるので、植物由来のプラスチックとか、海水に溶けるプラスチック材料を率先して採用することにより、プラスチック資源循環促進法を少しでも取り入れたいと考えております。

以上四つの目標の実現に向かって、あと１年間、全日本の会長をさせていただきますので、本日ご列席の皆様方のご支援・ご協力を重ねて申し上げまして、私のご挨拶といたします。ご清聴ありがとうございます。』

大野会長のご挨拶後、ご来賓としてご参加いただいた経済産業省素材産業課課長補佐の岸田学様にご祝辞をいただきました。

ご挨拶される岸田課長補佐

ご挨拶の後、住田嘉久副会長（東日本協会会長）の発声で祝宴が開始されました。

最後は岩﨑能久副会長（西日本協会会長）の中締めで懇親会を終了しました。

事務局レポート

■第404回　理事会議事録

１．日　時　令和５年７月13日（木）
16時10分～17時

２．場　所　銀座フェニックスプラザ３階会議室
東京都中央区銀座３－９－11
紙パルプ会館３階
電話03-3543-8118

３．出席者

住田　嘉久	山下慎一郎	原田　裕司
大野　泰昭	嶋田　修二	石川　忠彦
内藤　隆夫	平塚　隆文	伊藤　宏使
曽我部　大	植田　好司	河合　清美
小菅恵美子	佐藤　昭	福田　晴通
腰越　稔	平田　照雅	内山　三男
長谷川矩之	八尋　一恭	

以上出席理事20名（理事総数35名）

野邊弘一郎

以上監事１名

４．住田会長ご挨拶

本日はお忙しいところ第404回の理事会にお集まりいただき有難うございます。

各地で異常気象による水害が発生しており、関係各位で被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。また記録的な暑さが続いております。

本日も体調管理には十分気を付けて頂きたく、よろしくお願いいたします。フォーブスに「たった５品目の禁止で「プラスチックごみのない海岸」は実現する」という記事が掲載されました。この話題は喫煙される方には耳の痛い話かもしれませんが、インパクトのある数字が発表されておりますので、ご紹介したいと思いますので、何卒ご容赦ください。記事では最も一般的な５つのプラスチック製品の使用を止めれば、ビーチや海岸に打ち上げられるプラスチックごみを年間140万トンも削減できる可能性があることが、新たな研究で明らかになったそうです。「タバコ吸い殻のフィルター」「プラスチックストロー」「使い捨てのスプーンやフォークといったプラスチック製カトラリー」「プラスチック製の買い物袋」「発泡スチロールの食品容器」という５品目の使用を全米で禁止すれば、毎年4500億個ものプラスチック製品が削減されるという。これを重量で表すと、プラスチック140万トンに相当する。さらに別の言い方をすれば、米国で毎年使用される使い捨てのプラスチック製品とプラスチック包装が、１人あたり1000個分、減少する。国際海岸クリーンアップは、オーシャン・コンサーバンシーが呼びかけている海岸ゴミの清掃活動で、1986年にスタート。世界中で毎年同じ時期に実施され、集められたゴミに関するデータが収集されている。研究リポートによると、1986年から2021年までに国際海岸クリーンアップのボランティアたちが回収した吸い殻は5900万個以上、食品包装は2800万個以上、ペットボトルは2100万本以上だ。タバコの吸い殻に関しては、公共のビーチや公園で喫煙を禁止することが、海洋汚染を減らす上で最も効果的だとしている。吸い殻によるプラスチック汚染を削減する別の方法が、使い捨てフィルターの使用禁止だ。タバコのフィルターは、プラスチックの一種であるセルロースアセテートでできており、コンポスト内でも７年から14年間は分解されないという。オーシャン・コンサーバンシーの海洋プラスチック担当バイスプレジデント、ニコラス・マリョスは今回の研究結果について「第一歩はとても簡単だ」とマリョスは続ける。「最大の原因を流通させなければいい」といっておりますが、私はここの部分は反対で、プラスチックは生活するうえでなくてはならない素材です。使用したプラスチック製品を投棄せず、循環させる仕組みと扱う人間のモラルの向上が必要だと考えます。

最後になりましたが、本日も円滑な進行をお願いしまして簡単ですが、ご挨拶に代えさせていただきます。

５．専務理事より定数の報告

事務局より理事数35名のうち出席理事は20名であり、定款第33条の規程により過半数の理事の出席があり、本理事会が有効に成立している旨の報告がなされた。

６．議長選出

定款第30条の規程により会長が議長に選出された。

７．議事録署名人

議長は、定款第34条により、同人と出席の野邊監事に記名捺印をお願いし、了承された。

８．議　　事

議題１．経過報告（前回理事会以降の主要行事）

以下専務理事から説明を行った。

(1) 役員会等の開催

５月18日　第55回通常総会　上野精養軒
５月19日　第194回幹部会　上野精養軒
５月19日　第403回理事会　上野精養軒

(2) 部会・委員会の開催

①　技能検定運営委員会

５月30日　前期技能検定首席・事務局会議　東京都職業能力開発協会
６月２日　水準調整会議　板橋校
６月17日　実技試験説明会　板橋校
６月17日　樹脂替え確認　板橋校
６月24日　金型トライ　板橋校

②能力開発推進員会

６月24日, 25日　技能検定学科試験受検用対策講座　板橋校
７月１，２，８，９, 15, 16日　技能向上講座「射出成形樹脂替えと成形不良対策」　板橋校

③製品技術部会

５月12日　通常総会　銀座フェニックスプラザ

④青年経営研究会（JPO）

５月26日　JPO 役員会　Nick&Noojoo 新橋本店
６月21日　JPO 役員会　串あげもの　旬ｓ丸の内本店

⑤ＡＰＭ会

６月16日　第190回例会　アスレチックガーデンゴルフ倶楽部

(3) 支部会等の開催

５月22日　長野県プラ工業会総会
ホテル信濃路
５月26日　茨城県プラ振興会総会
ホテル東雲
５月26日　群馬県プラ振興協会総会
森秋旅館
５月27日　同親睦ゴルフコンペ
赤城ゴルフ倶楽部
６月21日　埼玉県プラ振興会総会　埼玉会館
７月３日　墨東支部会　東武レバントホテル
(4) 全日本プラ連合会
５月26日　中部日本協会総会
名古屋ガーデンパレス
５月30日　西日本協会総会
ホテルロイヤルクラシック大阪
５月31日　技能検定推進委員会情報交換会
ホテルメトロポリタンエドモント
６月８日　全日本プラ連合会第62回総会
千里阪急ホテル
６月９日　３地区協会親睦コンペ
鳴尾ゴルフ倶楽部

以上議題１について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題２．会員の入会・退会承認の件

以下専務理事から説明を行った。

(1) 入会の部

正 会 員　１社

会 社 名　シンエイカラー㈱
所 在 地　埼玉県さいたま市岩槻区横根64-１
代 表 者　加藤　誠
取扱製品　プラスチック着色剤の製造及び材料販売

賛助会員　２社

会 社 名　ミャンマー・ユニティ
所 在 地　東京都千代田区岩本町1-2-11 渡東ビルディングアネックス303
代 表 者　北中　彰
業　　種　ミャンマーの人材送り出し機関

会 社 名　㈱村上開明堂化成
所 在 地　東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館３Ｆ
代 表 者　石垣　昌之
業　　種　各種合成樹脂原料・再生樹脂原料の販売、その他機器の販売

(2) 退会の部

正 会 員　２社

会 社 名　㈱SB カワスミ
退会理由　親会社の意向

会 社 名　ミネベアミツミ㈱
退会理由　会社都合

賛助会員　１社

会 社 名　㈱ミスミ
退会理由　会社都合

(3) 会員の増減

	正会員	賛助会員	計	団体会員
前　回	160社	65社	225社	７団体
増　加	1社	2社	0社	0
減　少	2社	1社	0社	0
現　在	159社	66社	225社	７団体

以上議題２について諮ったところ特に異議なく了承された。

議題３．本日の納涼会の件

以下専務理事から説明を行った。

出席状況
本日のスケジュールと役割分担

以上議題３について諮ったところ特に異議なく了承された。

【その他報告事項】

以下の項目につき専務理事から説明を行った。

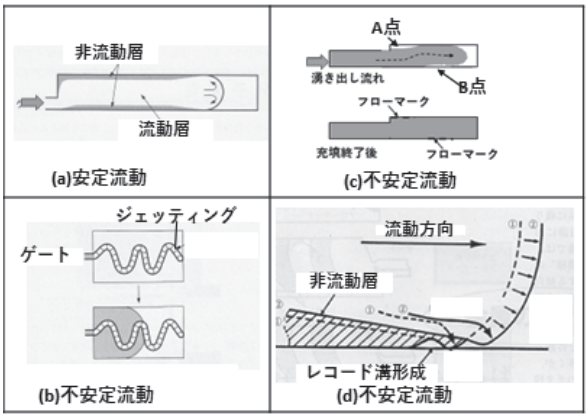
①景況について
日銀短観から
②技能実習制度と特定技能制度
技能実習制度の廃止のリスクと問題点
経済産業省からの問い合わせ
③東京都立中央城北職業能力開発センター板橋校からの依頼
プラスチック成形・デザイン科生徒の受入れ
④助成金のご案内（厚生労働省）
雇用関係助成金、労働条件等関係助成金
従業員のキャリア形成

以上その他報告事項について、異議なく了承された。

以上予定議案が終了し、議長は17時、閉会を宣した。

安定流動と不安定流動

射出成形における型内の流れ方は、通常は安定流動であるが、成形品設計や成形条件によっては不安定流動になる。図に安定流動と不安定流動の概念を示す。



図（a）は安定流動である。溶融樹脂が金型キャビティ内を流れるときにキャビティ壁面から冷却されるので壁面と接触する層は非流動層となる。実際には壁面との接触面は固化し内層は粘度が増大して非流動になるが、ここでは固化層を含めて非流動層と表現する。両非流動層の間を溶融樹脂が流動先端に向かって流れる。流動先端では噴水が湧き出るように流れるのでファウンテンフローと称する。安定流動では、次の挙動を示す。

①安定した射出速度で流動先端に向かって流動するが、流動過程で両壁面から冷却さるので非流動層厚みが次第に厚くなり、その分だけ流動層厚みは薄くなる。その結果、圧力損失が大きくなるので次第に流速は遅くなり、やがて流動停止する。停止するまでに流れた距離が最大流れ距離である。当然、製品肉厚が薄いほど流動層厚みは速く薄くなるので最大流れ距離は短くなる。また、材料の粘度が大きいほど、または樹脂温度が低いほど圧力損失は大きいので最大流れ距離は短くなる。

②最初に型内に流入した樹脂はゲート近傍で表面層を形成し、後で流入した樹脂は先端に向かって流れる。従って、後で流入した樹脂は流動先端側の表面層となる。

一方、図（b）,図（c）,図（d）は不安定流動である[1)]。

図（b）は細いゲートから高速で射出されると、溶融樹脂がひも状になって飛び出して流動先端向かって射出される。ゲートから高速で射出されると表面が肌荒れした状態（メルトフラクチャ）になり、そのまま固化する。その後、流動抵抗が高まると安定流動になり、ゲート側から溶融樹脂が充填されるが、成形品表面には蛇行した肌荒れ跡が残る。これがジェッティングマークまたはジェットフローである。比較的厚肉の成形品に細いゲートから高速で射出するときに見られる不安定流動である。成形品設計ではゲートを太くすること、成形条件では樹脂温度を高めて射出速度を遅くする対策が有効である。

図（c）は段差のあるキャビティ内を高速で射出されるときに見られる湧き出し流れと呼ばれる現象である。湧き出すように流れて蛇行するため、射出直後は図に示すようにＡ点やＢ点では型壁面に接触しない状態で流動して、ある程度充填されて型内圧が高まると型壁面に押し付けられる。しかし、この時点ではＡ点およびＢ点の表面層の樹脂温度は低下しているので、引き伸ばされること（分子配向という）で白化して見える。これがフローマークである。成形品設計では段差を無くして漸次肉厚が変化する形状にすること、鋭角コーナにはアールを付けることなど、成形条件では射出速度を遅くする対策が有効である。

図（d）は射出速度が遅いときに、流動先端で流速低下または一時停止と再流動を繰り返すときに発生する現象である。射出速度が遅いと射出中に流動先端部の流動抵抗が大きくなり、流速が低下または１時停止する。しかし、圧力が高まると乗り越えて流動するため、１つの波が形成される。このような現象を繰り返すことで、流動方向に対して垂直に細かい波形の模様（レコード溝マーク）が形成されると推定される。肉厚を厚くすること、成形条件では樹脂温度を高めて射出速度を速くする対策が有効である。　　（案山子）

引用文献：1）横井秀俊、平野幸喜、成形加工、20（10），737～742（2008）

令和五年

暑中お見舞い申し上げます

旭モールディング株式会社
代表取締役
福田晴通
〒116-0012 東京都荒川区東尾久五―二―一
電話 〇三（五八五五）三五六〇

浅間合成株式会社
代表取締役
嶋田修二
本社工場
〒401-0301
山梨県南都留郡富士河口湖町船津6081-1
TEL（0555）73-2831
FAX（0555）73-2832
http://www.asama-gosei.jp/
P-E-mail:shimach@poplar.ocn.ne.jp
ISO9001:2015 認証取得

明日の情報システムを想像する ASCOT
株式会社 アスコット
代表取締役社長
吉村紳一
本　社　〒540-0021 大阪市中央区大手通1-4-10 大手町フタバビル6F
TEL (06) 6944-9211 FAX (06) 6944-3233
東京支店　〒110-0016 東京都台東区台東4-27-5 秀和御徒町ビル5F
TEL (03) 6870-2250 FAX (03) 6870-2253

株式会社荒川樹脂
arakawa
代表取締役
小菅恵美子
〒116-0002 東京都荒川区荒川五―三九―一一
電話 〇三（三八九二）五七二一（代）

積み重ねた歴史・最新の技術
株式会社 イガラシコーカ
代表取締役社長
秋野勝彦
本　社　〒213-0031 川崎市高津区宇奈根七二〇―三
電話 〇四四（八五〇）一七一七（代）

プラパート®
株式会社 石黒製作所
代表取締役社長
大野泰昭
〒136-0074 東京都江東区東砂6-2-9
TEL 03-5665-7711 FAX 03-5665-7712
URL:http://www.pla-part.com/

株式会社植田電器製作所
代表取締役
植田好司
本　社　〒114-0012
東京都北区田端新町 2-28-13
電話 03（3893）3376
白岡工場　〒349-0203
埼玉県白岡市下大崎 871
電話 0480（92）8484

エンゼル産業株式会社
代表取締役社長
野邊弘一郎
本社　〒132-0024 東京都江戸川区一之江八―一四―一交通会館ビル3F
電話 〇三（五八七九）三二六三
FAX 〇三（五八七九）三二七四

Enplas
株式会社エンプラス
代表取締役社長
横田大輔
〒332-0034 埼玉県川口市並木2丁目30番1号
電話 048（253）3131（代）
https://www.enplas.co.jp

令和五年

暑中お見舞い申し上げます

KAWATA
先進技術とトータルシステムで貢献
株式会社カワタ
代表取締役社長
白石　亙
〒104-0033
東京都中央区新川1-2-10
新川むさしやビル4階
TEL 03-3523-5680
FAX 03-3523-5682

かみむら化学株式会社
KAMIMURA CHEMICAL co.ltd.
代表取締役社長
上村俊彦
URL:http://kamimura-kagaku.com.
〒125-0041 東京都葛飾区東金町5-15-2
Tel 03-3600-1313 Fax 03-3600-1315
本社工場
〒340-0822 埼玉県八潮市大瀬5-8-1
Tel 048-996-9401 Fax 048-995-3009

OSK
大塚産業株式会社
代表取締役社長
原田裕司
〒130-0005 東京都墨田区東駒形二―一八―一二
電話 〇三（三六二五）五六五一（代）
FAX 〇三（三六二五）三二六五

むすぶテクノロジー
SG 株式会社
サトーゴーセー
代表取締役社長
佐藤昭
本社 〒174-0074 東京都板橋区東新町 1-17-1
Tel:03-3955-4066 Fax:03-3959-5481
東松山 〒355-0071 埼玉県東松山市大字新郷 70-1
鶴岡 〒997-0011 山形県鶴岡市宝田 1-10-51

離型剤・防錆剤・潤滑剤・洗浄剤の製造販売
KOBEGOSEI
神戸合成株式会社
代表取締役社長
宮岡督修
本社：兵庫県小野市匠台10番地
TEL:(0794)64-7771(代) FAX:(0794)64-7772
URL:http:www.kobe-gosei.co.jp
BIG FORCE

KP
工藤プラスチック工業株式会社
代表取締役
小林宏至
〒174-0065 東京都板橋区若木三―五―三
電話 〇三（三九三一一）六三一一

Joto
LYPRONE
城東リプロン株式会社
代表取締役社長 横江政洋
本社 〒104-0045
東京都中央区築地6丁目19番20号
ニチレイ東銀座ビル９Ｆ
TEL 03-6281-5936(代) FAX 03-6281-5937
http://www.lyprone.com

SANSEI BUSSAN
三省物産株式会社
代表取締役社長
髙階達也
〒103-8339 東京都中央区日本橋一丁目三番一三号
（東京建物日本橋ビル四階）
電話 〇三（三二一七〇）五七二一

SK
株式会社三光社
代表取締役社長
平塚隆文
本社 〒111-0052 東京都台東区柳橋二―九―三
電話 〇三（三八六三）三五四八(代)
FAX 〇三（三八六三）三五七九

セーチョー工業株式会社
代表取締役
生倉茂
〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本六―五―一〇
中屋第２ビル２Ｆ
電話 〇四二（七七四）八九一一

shinjo
株式会社新上
取締役会長
曽我部上
代表取締役
曽我部大
〒277-0814 千葉県柏市正連寺二七二―一中央八街区四
電話 〇四（七一三三）〇四七一

ISO 9001登録企業
押出成形
SKK 白石工業株式会社
代表取締役社長
白石創士
〒136-0071 東京都江東区亀戸5-44-8
電話 (03) 3683－３３０１(代)
ＦＡＸ (03) 3683－３３０５
http:www.shiraishi-kk.co.jp

令和五年

暑中お見舞い申し上げます

Sodick
株式会社ソディック
代表取締役社長
古川　健一
〒224-8522
横浜市都筑区仲町台 3-12-1
TEL：045-942-3111（大代）
URL：www.sodick.co.jp

2色成形の
株式会社 ダイテック
代表取締役
伊藤　創
〒370-1124 群馬県佐波郡玉村町角渕5206-3
TEL 0270-64-1819　FAX 0270-64-2014
E-mail h-ito@p-daitec.co.jp
HP http://www.p-daitec.co.jp

拓水工業株式会社
代表取締役
蓑輪　透
〒134-0083
東京都江戸川区中葛西七―二六―一四
電話　〇三（三六七五）二七三一

CHIBA　業務用調理機器
株式会社 千葉工業所
代表取締役 長島勝敏
〒273-0048 千葉県船橋市丸山4-53-14
☎047-438-3411㈹ FAX047-438-3413
e-mail:peels@chiba-ind.co.jp
URL:http://www.chiba-ind.co.jp

TECHNO
テクノ精工株式会社
代表取締役社長
野本　義三
〒270-0113 千葉県流山市駒木台495-5
TEL 04(7155)6055　FAX 04(7155)6662
http://www.technoseiko.com/
E-mail:info@technoseiko.com

TENSHO
プラスチックの総合メーカー
天昇電気工業株式会社
代表取締役社長
石川忠彦
〒194-0005　東京都町田市南町田5-3-65
天幸ビル17
TEL 042(788)1555　FAX 042(796) 6333
https://www.tensho-plastic.co.jp

長野県プラスチック工業会
会長
内山三男
〒380-0936
長野市大字中御所字岡田一三一―一〇
長野県中小企業会館三階
電話　〇二六（二二二六）一五五一
FAX　〇二六（二二二六）六一一六

再生ペレット製造・販売
株式会社 日豊化学
NICHIHO CHEMICAL
専務取締役
樋口政章
〒130-0013
東京都墨田区錦糸 2-12-1
日豊ビル
TEL 03-6825-3081

日鋼YPK商事株式会社
代表取締役社長
菊川健治
〒141－0032
東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウエストタワー 10階
電　話　03（5745）2131
ＦＡＸ　03（5745）2160
支　店：中部・関西
営業所：室蘭・仙台・長野・富山・
岸和田・関西・広島・福岡
URL https://jsw-nyc.jp

Nissin
株式會社 日新化成
代表取締役
早川聖人
〒331-0046
埼玉県さいたま市西区宮前町821番地
TEL 048－624－8450

役に立つ会社
NIPPLA
創立 1934 年
（昭和９年）
日本プラスチックス工業株式会社
代表取締役社長
淺見好邦
本　　社　東京都荒川区荒川4丁目53番2号
〒116-0002　電話 03(3807)8651番(代表)
http://www.nippla-web.co.jp

NIHON YUKI
株式会社
日本油機
代表取締役社長
市川博章
〒252-0203
神奈川県相模原市中央区東淵野辺 4-2-2
TEL　042-757-6681
FAX　042-757-6683
info@nihon-yuki.co.jp
http://www.nihon-yuki.co.jp

令和五年

暑中お見舞い申し上げます

不二プラスチック株式会社
代表取締役
池下龍一郎
〒300-0605 茨城県稲敷市幸田六七七
電話 〇二九九（七九）二三二四

福島県プラスチック工業会
会長
佐藤正幸
〒960-8157 福島県福島市蓬莱町一―一―一

HARMO 株式会社ハーモ
代表取締役社長
濱秀明
〒399-4595 長野県上伊那郡南箕輪村四一二四―一
電話 〇二六五（七二）〇一一一

平和工業株式会社
代表取締役
内藤喜達
〒143-0003 東京都大田区京浜島二―二―四
電話 〇三（三七九〇）一〇三一

PLAMOUL 株式会社プラモール精工
代表取締役社長
脇山高志
〒981-3351
宮城県富谷市鷹乃杜４丁目3-5
ＴＥＬ：０２２-３４８-１２５０

古川化学工業株式会社
代表取締役社長
古川雅一
〒130-0024
東京都墨田区菊川二丁目十四番二号
電話　03（3631）６６５５番
　　03（3634）3551～３番
ＦＡＸ　03（3634）３５５４番

muratec
取締役営業本部長
花田　元生
ムラテックフロンティア株式会社
本　社　〒612-8686
京都市伏見区竹田向代町136
電話:075-672-8257 FAX:075-672-8307
東日本支店　〒330-0802
埼玉県さいたま市大宮区宮町4-85-1
電話:048-649-6139 FAX:048-649-5123

MATSUI®
株式会社　松井製作所
代表取締役社長　松井　宏信
〒141-0032
東京都品川区大崎1-6-4 新大崎勧業ビル9階
tel:03-5436-3521
fax:03-3495-5331
URL http://matsui.net

HORAI 株式会社ホーライ
代表取締役
鈴木雅之
〒950-0821 東大阪市高井田本通り二―三―十
電話 〇六（六七八二）一二八一

プラスチック成形用金型設計・製作
明輝の金型
株式會社　明輝
代表取締役社長　黒柳貴宏
〒243-0807　神奈川県厚木市金田800
厚木工場　TEL 046-224-2251
〒243-0807　神奈川県厚木市金田1030
神奈川工場　TEL 046-224-1711
〒021-0922　岩手県一関市東台14-67
一関工場　TEL 0191-26-0775
海外工場　マレーシア・メキシコ・タイ・アメリカ

P&E 山下電気株式会社
代表取締役社長
山下慎一郎
〒140-0004
東京都品川区南品川3-6-33
TEL（03）3740-2401
URL:https://www.yamashita-denki.co.jp

PLASTICS WORLD YAMASO
増田英輔
代表取締役社長
山宗株式会社　関東事業部
東京都千代田区内神田2-15-2
内神田DNKビル6F　〒101-0047
TEL.03-5297-7987　FAX.03-5297-7979
http://www.yamaso.co.jp/

YUSHIN

株式会社ユーシン精機

代表取締役社長　小谷　高代

■本社
〒601-8205 京都市南区久世殿城町555番地
電話 075(933)9555 FAX 075(934)4033
□東日本統括営業所
〒331-0811 さいたま市北区吉野町2-179-11
電話 048(665)2921 FAX 048(665)2927

Leadence

株式会社リーデンス

代表取締役社長
肥　後　武　展

本社　埼玉県入間郡三芳町大字北永井722
〒354-0044　電話　049（259）1161㈹

東プラ健保は加入員の健康づくりを推進しています。

東日本プラスチック健康保険組合

理事長　小林　達夫
常務理事　佐藤　栄一

〒111-0052
東京都台東区柳橋1-1-4
電話　03-3862-1051㈹

（一社）東日本プラスチック製品工業協会

共済事業委員会

～会員のお役に立つ事業を推進しています～

◯ETCカード事業
◯ガソリンカード事業
◯各種ユニフォーム、安全靴、タオル等斡旋
◯PL保険、団体生命保険
◯プラスチック手帳、選別機、保存食ほか

電話 03-3541-4321　　事務局　八尋

老後の安定した生活のために

トープラ企業年金基金

理事長　池下龍一郎
常務理事　江藤　清隆

〒103-0004
東京都中央区東日本橋1-5-13
東京ニットファッション健保会館２階
TEL　03-5809-1581

東日本プラスチック製品工業協同組合

～今後とも、会員企業のお役に立つよう
下記の事業に積極的に取組んでまいります～

◯各種ユニフォーム・事務服等　◯ETC カード事業
◯ガソリンカード事業　◯PL 保険、団体生命保険
◯タオル斡旋、保存食、精米機他　◯除菌消臭スプレー

上記事業を一般社団法人東日本プラスチック製品工業協会と連携して実施しています。ご用命は下記へ。

東日本プラスチック製品工業協同組合
代表理事　嶋田　修二
電話 03-3541-4321　Fax 03-3541-4324

全日本プラスチック製品工業連合会

会　　長　大　野　泰　昭
副 会 長　住　田　嘉　久
副 会 長　大　松　利　幸
副 会 長　岩　﨑　能　久
専務理事　八　尋　一　恭

〒104-0045　東京都中央区築地3-12-5（築地小山ビル1F）
電話 03-3541-4321　Fax 03-3541-4324
URL http://www.jppf.gr.jp

令和五年

暑中お見舞い申し上げます

muratec

2023年4月1日、ムラテック販売は
ムラテックフロンティア へ社名変更いたしました

はたらく・つくるの明日をひらく
ムラテックフロンティア株式会社
https://www.muratec.jp/fs/

ファクトリーソリューション営業部
■東日本支店／埼玉県さいたま市大宮区宮町4丁目85-1 〒330-0802
TEL 048(649)6139　FAX 048(647)9446
■中 部 支 店／愛知県犬山市橋爪中島2 〒484-8502
TEL 0568(63)2311　FAX 0568(63)5779
■西日本支店／京都市伏見区竹田向代町136 〒612-8686
TEL 075(672)8257　FAX 075(672)8390